

通信環境の改善が課題とされています。

この現状を受け、ネットワークアセスメントの徹底や通信環境の改善が急務となっています。

一方で、教育課題の解決に向け、生成 AI の活用が進んでいます。教育や校務での活用事例も生まれつつあり、自治体での実証研究を推進するために、6 億円が計上されています。

子供の学びの充実や教職員の働き方改革を実現するためには、以下の取り組みが必要としています。

- ・教育分野に特化した生成 AI モデルやサービスの実証実験の推進
- ・生成 AI の活用に伴うリスクへの対応（例：ガイドラインの遵守、セキュアな環境下での活用）を考慮した先進的な取り組み

これらを通じて、好事例や留意事項を整理・発信することにより、教育現場における効果や適切な生成 AI の利活用の実現が求められています。

▼令和 6 年度文部科学省関係補正予算（案）事業別資料集

https://www.mext.go.jp/content/20241129-ope_dev02-000031627_2.pdf

◇◆ トピックス（2）

全国公立学校教頭会は、「全国公立学校教頭会の調査」を公表

.....◆◇

全国公立学校教頭会は 9 月 27 日、「全国公立学校教頭会の調査」を公表しました。

全国公立学校教頭会とは、全国の公立小・中学校の副校長・教頭約 2 万 8,000 人の会員で構成されています。副校長・教頭のおかれている現状を的確に把握し、教育現場の課題解決を目的に活動している団体です。

今回の調査では、以下の緊急課題をテーマとして取り上げています。

1. 教員不足問題の現状
2. 副校長・教頭マネジメント支援員について
3. GIGA スクール構想への対応

調査対象は、全国公立学校教頭会の全会員を対象に実施され、

千葉県 2024年11月8日 市立中学校 書類 31件
埼玉県 2024年11月11日 県立高等学校 書類 1件
大分県 2024年11月11日 中学校 パソコン 678件
埼玉県 2024年11月14日 県立高等学校 USBメモリ 28件
東京都 2025年11月21日 都立高等学校 書類 35件
北海道 2024年11月21日 高等学校 USBメモリ 不明
宮崎県 2024年11月22日 市立中学校 その他 不明
大分県 2024年11月29日 特別支援学校 書類 3件

(2) 誤送信

大阪府 2024年11月5日 府立高等学校 電子メール 242件
大阪府 2024年11月5日 府立高等学校 電子メール 67件
福井県 2024年11月9日 児童館・学童クラブ 電子メール 40件

(3) 誤公開

山口県 2024年11月12日 その他 システム・サーバー 4482件
群馬県 2024年11月15日 県立高等学校 ホームページ・Web 95件

(4) 誤配布

大阪府 2024年11月19日 不明 書類 14件
山梨県 2024年11月22日 県立高等学校 書類 不明

(5) 不正アクセス

北海道 2024年11月18日 私立大学 システム・サーバー 159件

(6) ワーム・ウイルス感染

沖縄県 2024年11月27日 小学校 USBメモリ、システム・サーバー 約700件

※以下の参考サイトをもとに、学校、公的教育機関、関連組織で発生した情報セキュリティ事故の内訳と概要を掲載しています。事故の詳細は、上記に記載されている項目を検索するなどして、ご確認をお願いいたします。

参考サイト：

埼玉県ホームページ／千葉日報オンライン／Security NEXT／NHK NEWS WEB／

大阪府ホームページ／福井新聞 ONLINE など



□ **【3】** 学校 ICT・セキュリティコラム



◆ 特別支援教育×ICT：生徒の「自立」に向けて ◆

相模原市立中野中学校 特別支援学級担任 岡本 一郎

ICTが一般教育に広く浸透する中で、特別支援教育においても大きな役割を果たしています。支援が必要な生徒こそ、ICTの力を活用することで、学びや生活での可能性が広がり、より豊かな経験を積むことができます。ここでは、その効果と具体的な活用方法について、私が経験してきたことを紹介したいと思います。

まず、ICTを活用するメリットの一つとして、タブレットPCを使うことによる「多様な入力方法の提供」が挙げられます。特別支援教育の現場では、生徒それぞれが異なる得意・不得意を持っているため、どのような手段で自身の考えを表現するかという選択肢が多いことが重要です。プリントなどにそのまま書ける生徒もちろんいますが、書字が苦手であったり、文房具を持つとついつい意識がそちらに向いてしまったりする生徒もいます。その生徒も、タブレットPCでの入力となれば集中できるようになることが多いです。また、ローマ字入力ができない生徒も「かな入力」や「音声入力」といった手段があるおかげで、よりスムーズに文字にすることが可能となります。

ICTは生活面でも大いに役立ちます。例えば、自宅の住所を覚えられない生徒がいました。修学旅行の荷物を自宅に届けるために必要だったのですが、その生徒は郵便番号も番地も分かりません。しかし、地図アプリのマップ機能を使い、自宅の場所をタップして住所を表示させることにより、問題を解決しました。日常的に使うことによって、ICT利活用と、生徒の持っている知識が結びついた瞬間でした。

他にも、私のクラスでは毎年修学旅行先と1・2年生の教室をリモートでつなぐという取り組みをしています。事前に下級生が考えていた質問に対して、3年生が現地で学んだこと、実際に観てきたことを伝えます。下級生はあらかじめ用意していた質問に加えて、リモート中継で観られる景色にも興味を示します。3年生は予想外の質問にもアドリブで答えますが、下級生からは食べ物、お土産、観光している人の数など、質問が止むことはありません。答えられない質問があると、後日答えられるように3年生はホテルに戻ると一生懸命に調べ学習をします。この取り組みは3年生の大きな学びとなり、

同時に下級生の修学旅行への興味・関心を大きく引き上げることに成功しています。

また、近年注目を集める生成 AI も、特別支援教育で大きな支えとなっています。

私は言葉で上手に表現できない生徒がいる中で、彼らが何を考えているのか

「頭の中をのぞいてみたい」というような気持ちをもつことが多くありました。

彼らは課題に対して考えているのですが、その言葉の表出が上手くできなかつたり、

時間がかかったりして相手に思うように伝わらず、

中には伝えることを諦めてしまう生徒もいました。

しかし、例えば ChatGPT などのツールを使うことで、

生徒が思っていることを簡単な形にまとめたり、

複雑な説明をわかりやすく変換したりできます。

このような AI のサポートにより、生徒は「自分の考えが上手く伝わらない」という

もどかしさから解放され、自信を持って意見を発信できるようになるのです。

支援が必要な生徒たちにとって、ICT 活用は「自立」への強い味方となります。

特別支援教育の場では「眼鏡をかける」という表現がよく使われます。

眼鏡をかけることが当たり前であるように、

ICT を活用することも特別なことではありません。

これからも生徒一人一人の自立に向け、可能性を広げられるよう、

丁寧に向き合っていきたいと思います。

◆ 執筆者プロフィール ◆

岡本 一朗

- ・相模原市立中野中学校（2017～）
- ・特別支援学級担任
- ・相模原市立中学校教育研究会(支援教育の部)副部長
- ・校内では 2020 年度から校内研究推進委員長を務める

……◇◆ 【最新版】「個人情報漏えい事故の発生状況調査報告書」を公開 ◆◇……

ISEN では、今年 11 月に「令和 5 年度 学校・教育機関における個人情報漏えい事故の発生状況」調査報告書（第 2 版）を Web 公開しました。

>> https://school-security.jp/leak_all/

<事務局>

教育ネットワーク情報セキュリティ推進委員会（ISEN）

〒105-0013 東京都港区浜松町 1-30-5 浜松町スクエア 2 階（株式会社 JMC 内）

<https://school-security.jp/>

▽「教育の情報化や学校情報セキュリティ対策」にご興味をお持ちの方が
いらっしゃいましたら、本メールマガジンをご紹介ください。
メルマガ登録フォーム：<https://fs220.xbit.jp/y592/form2/>

▽ 個人情報の取り扱いは下記リンクをご参照ください。
<https://school-security.jp/privacy/>

▽ お問い合わせ・配信停止・メールアドレスの変更は、
下記フォームよりご連絡ください。
<https://fs220.xbit.jp/y592/form3/>